



Level up your happiness



令和8年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和8年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス
 コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員CEO (氏名) 鯉沼 久史
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 (TEL) 045-562-8111
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第3四半期の連結業績 (令和7年4月1日～令和7年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和8年3月期第3四半期	51,729	△1.6	14,571	△3.3	31,099	△6.2	23,780	△5.5
令和7年3月期第3四半期	52,570	△14.0	15,075	△25.8	33,144	△2.0	25,161	3.6

(注) 包括利益 令和8年3月期第3四半期 56,359百万円(52.0%) 令和7年3月期第3四半期 37,073百万円(23.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
令和8年3月期第3四半期	73.84	73.77	
令和7年3月期第3四半期	79.67	74.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和8年3月期第3四半期	311,492	258,716	82.8	772.35
令和7年3月期	209,828	189,421	89.9	596.95

(参考) 自己資本 令和8年3月期第3四半期 258,033百万円 令和7年3月期 188,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
令和7年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 60.00	円 銭 60.00
令和8年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -
令和8年3月期(予想)				43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の連結業績予想 (令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	92,000	10.6	31,000	△3.5	37,000	△26.0	27,000	△28.2

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 1株当たり当期純利益は、令和7年9月17日を払込期日とする公募による自己株式の処分(14,740,000株)及び令和7年9月30日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分(3,260,000株)を反映した期中平均株式数を算定基礎としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	令和8年3月期3Q	336,096,924株	令和7年3月期	336,096,924株
② 期末自己株式数	令和8年3月期3Q	2,010,108株	令和7年3月期	20,245,650株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	令和8年3月期3Q	322,059,068株	令和7年3月期3Q	315,837,453株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無

監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、令和8年1月26日（月）にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は緩やかに持ち直しているものの、米国の関税政策や地政学リスク等に伴う不透明感が続いている。

このような経営環境下において、第4次中期経営計画の初年度となる当期は、中長期での飛躍に向けた「成長のための基盤づくり」をテーマとして各種施策に取り組んでいます。

12月に開催された「PlayStation Partner Awards 2025 Japan/Asia」では「日本ゲーム大賞2025」での受賞に続き『真・三國無双 ORIGINS』が「USERS' CHOICE AWARD」を受賞しました。

当四半期はパッケージゲーム4タイトルを発売し、オンライン・モバイルゲームでは当社が開発した2タイトルが運営を開始したことで、当第3四半期連結会計期間の売上高、営業利益は前年同期を大幅に上回りました。営業外収支は金融市場の動向を注視しながら戦略的にポートフォリオの組み換えを行い、利益を計上しました。

これらの結果、売上高517億29百万円(前年同四半期比1.6%減)、営業利益145億71百万円(同3.3%減)、経常利益310億99百万円(同6.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益237億80百万円(同5.5%減)となりました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 475億43百万円 セグメント利益 141億48百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、『キングダム 霊道』^(※1)が10月に配信を開始しました。

『信長の野望 霊道』は12月に3周年を記念したキャンペーン等を実施し、10月に台湾、香港、マレーシア地域にて新たにサービスを開始しております。パッケージゲームでは『三國志8 REMAKE with パワーアップキット』(2026年1月29日発売予定。PS5、PS4、Nintendo Switch^(※2)、Windows(Steam)用)と『Winning Post 10 2026』(2026年3月26日発売予定。PS5、PS4、Nintendo Switch 2^(※2)、Nintendo Switch、Windows(Steam)用)を発表しました。

「ω-Force」ブランドでは、2026年1月22日に『真・三國無双 ORIGINS』のNintendo Switch 2版を発売し、大型ダウンロードコンテンツ「夢幻の四英傑」の配信を開始しました。また、ポケモン初のスローライフ・サンドボックスゲーム『ぼこ あ ポケモン』^(※3)の発売予定日(2026年3月5日)を発表しました。

「Team NINJA」ブランドでは、『NINJA GAIDEN 4』^(※4)を10月に発売しました。

また、『零～紅い蝶～ REMAKE』の発売予定日(2026年3月12日)を発表しました。『仁王3』は2026年2月6日発売に向けてマーケティング施策に注力しました。

「ガスト」ブランドでは、『ライザのアトリエ』3部作に新規要素を追加した『ライザのアトリエ～秘密トリロジー～ DX』を11月に発売しました。

「ルビーパーティー」ブランドでは、和風恋愛アドベンチャーゲーム『遙かなる時空の中で 龍宮の神子』が11月に配信を開始しました。

「midas」ブランドでは、位置情報ゲーム『信長の野望 出陣』において、神奈川県とコラボしたゲーム内イベント「未病改善ウォークラリー」を実施しました。

「AAAスタジオ」では、『ゼルダ無双 封印戦記』^(※5)を11月に発売し、全世界累計出荷本数が100万本を突破しました。

IP事業においては、当社がIPを許諾したスマートフォンゲーム1タイトルがサービスを開始しました。

『三国志・戦略版』(国内では『三国志 真戦』)は引き続き収益に寄与しました。

※1 『キングダム 霊道』の配信元は株式会社バンダイナムコエンターテインメントです。

※2 Nintendo Switch及びNintendo Switch 2は任天堂株式会社の商標です。

※3 『ぼこ あ ポケモン』の発売元は株式会社ポケモンです。

※4 『NINJA GAIDEN 4』の発売元はXbox Game Studiosです。

※5 『ゼルダ無双 封印戦記』の海外における発売元は任天堂株式会社です。

アミューズメント事業 売上高 34億36百万円 セグメント利益 5億59百万円

アミューズメント施設では既存店売上高が好調に推移しました。スロット・パチンコでは液晶ソフト受託開発に取り組み、開発受託2タイトルが稼働を開始しました。

不動産事業 売上高 9億72百万円 セグメント利益 2億46百万円

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、引き続き高い稼働率となりました。

その他事業 売上高 2億65百万円 セグメント損失 3億82百万円

ベンチャーキャピタル事業において、ファンドの管理費用が発生しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,016億64百万円増加し3,114億92百万円となりました。これは主に、投資有価証券が281億23百万円、現金及び預金が272億84百万円、有価証券が268億8百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して323億68百万円増加し527億76百万円となりました。これは主に、短期借入金が230億円、繰延税金負債が126億16百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が16億72百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して692億95百万円増加し2,587億16百万円となりました。これは主に、自己株式が339億93百万円減少し、その他有価証券評価差額金が310億32百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年4月30日に公表した令和8年3月期の通期の業績予想は、第4四半期の新作タイトルの販売動向、世界経済や金融環境の動向を踏まえ、当初予想からの変更はございません。今後、業績予想数値に修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	24,034	51,319
売掛金及び契約資産	15,123	12,410
有価証券	20,454	47,263
商品及び製品	37	203
仕掛品	8	11
原材料及び貯蔵品	132	225
その他	1,696	4,160
貸倒引当金	△3	△1
流动資産合計	61,484	115,591
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,079	27,188
土地	14,615	27,665
建設仮勘定	71	832
その他（純額）	1,742	1,795
有形固定資産合計	36,509	57,481
無形固定資産		
その他	187	172
無形固定資産合計	187	172
投資その他の資産		
投資有価証券	99,409	127,532
繰延税金資産	4,119	2,473
退職給付に係る資産	4,431	4,964
その他	3,685	3,275
投資その他の資産合計	111,646	138,246
固定資産合計	148,343	195,900
資産合計	209,828	311,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和7年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,238	1,532
短期借入金	-	23,000
未払金	3,798	2,696
未払法人税等	6,795	5,122
賞与引当金	2,047	1,177
役員賞与引当金	425	322
その他	4,610	4,941
流動負債合計	18,914	38,792
固定負債		
繰延税金負債	535	13,151
その他	957	832
固定負債合計	1,492	13,983
負債合計	20,407	52,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	27,435	25,699
利益剰余金	183,630	188,279
自己株式	△37,740	△3,747
株主資本合計	188,324	225,231
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,928	29,103
土地再評価差額金	△3,101	△3,101
為替換算調整勘定	4,583	6,182
退職給付に係る調整累計額	669	616
その他の包括利益累計額合計	222	32,801
新株予約権	873	683
純資産合計	189,421	258,716
負債純資産合計	209,828	311,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
売上高	52,570	51,729
売上原価	22,727	22,670
売上総利益	29,843	29,058
販売費及び一般管理費	14,767	14,487
営業利益	15,075	14,571
営業外収益		
受取利息	13,575	8,359
受取配当金	594	534
投資有価証券売却益	1,281	10,953
有価証券償還益	3,275	742
デリバティブ評価益	2,069	5,524
為替差益	1,633	1,030
その他	161	433
営業外収益合計	22,591	27,577
営業外費用		
投資有価証券評価損	447	-
投資有価証券売却損	0	10,071
有価証券償還損	3,017	783
デリバティブ評価損	754	-
その他	304	194
営業外費用合計	4,523	11,049
経常利益	33,144	31,099
税金等調整前四半期純利益	33,144	31,099
法人税、住民税及び事業税	7,732	7,165
法人税等調整額	249	154
法人税等合計	7,982	7,319
四半期純利益	25,161	23,780
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,161	23,780

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
四半期純利益	25,161	23,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,398	31,032
土地再評価差額金	0	-
為替換算調整勘定	589	1,599
退職給付に係る調整額	△76	△52
その他の包括利益合計	11,911	32,578
四半期包括利益	37,073	56,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,073	56,359

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和7年9月2日付の取締役会決議に基づき、令和7年9月17日を払込期日とする公募による自己株式の処分14,740,000株及びオーバーアロットメントによる売出に関連した令和7年9月30日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分3,260,000株を実施し、資本剰余金が1,836百万円、利益剰余金が179百万円、自己株式が33,554百万円それぞれ減少しております。なお、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

これらの結果などにより当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が25,699百万円、利益剰余金が188,279百万円、自己株式が3,747百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	48,520	3,103	938	52,563	7	52,570
セグメント間の内部売上高 又は振替高	274	0	-	274	220	494
計	48,794	3,103	938	52,837	227	53,065
セグメント利益又は損失(△)	14,867	377	228	15,473	△397	15,075

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主要内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,473
「その他」の区分の損失(△)	△397
四半期連結損益計算書の営業利益	15,075

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,293	3,436	971	51,701	27	51,729
セグメント間の内部売上高 又は振替高	250	0	1	251	238	489
計	47,543	3,436	972	51,952	265	52,218
セグメント利益又は損失(△)	14,148	559	246	14,954	△382	14,571

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	14,954
「その他」の区分の損失(△)	△382
四半期連結損益計算書の営業利益	14,571

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年12月31日)
--	--

減価償却費	1,405 百万円	1,445 百万円
-------	-----------	-----------

(重要な後発事象)

該当事項はありません。